

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3735541号
(P3735541)

(45) 発行日 平成18年1月18日(2006.1.18)

(24) 登録日 平成17年10月28日(2005.10.28)

(51) Int. Cl. F I
A 6 1 K 8/00 (2006.01)
A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

A 6 1 K 7/027

請求項の数 2 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2001-138460 (P2001-138460)	(73) 特許権者	501184685
(22) 出願日	平成13年5月9日(2001.5.9)		郭 富卿
(65) 公開番号	特開2002-332213 (P2002-332213A)		台湾台南縣永康市中正南路274巷99弄25號
(43) 公開日	平成14年11月22日(2002.11.22)		NO. 25 AVENUE 99, LAN E 274, CHUNG CHENG S OUTH ROAD, YUNG KANG CITY, TAINAN HSIEN, TAIWAN, R. O. C.
審査請求日	平成15年4月7日(2003.4.7)	(74) 代理人	100082304
			弁理士 竹本 松司
		(74) 代理人	100088351
			弁理士 杉山 秀雄
		(74) 代理人	100093425
			弁理士 湯田 浩一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 口紅製造装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

口紅材料を受けるよう内部に形成された少なくとも1つの成形キャビティを含む成形部材と、

前記成形部材内に係合された少なくとも1つの補強板と、

前記成形部材を通して前記成形部材に平行に係合され、前記少なくとも1つの補強板に結合され、前記少なくとも1つの補強板を前記成形部材から半径方向に離れるよう移動させ、前記成形部材を膨張させて口紅材料を前記成形部材から離脱させ取り外すための、少なくとも1つのロッドと

を備え、

前記少なくとも1つの補強板が、外側に突出した耳部をそれぞれ有する2つの端部を含み、前記耳部が、前記少なくとも1つのロッドを受けるよう形成された少なくとも1つの開口を含む、口紅製造装置。

【請求項 2】

口紅材料を受けるよう内部に形成された少なくとも1つの成形キャビティを含む成形部材と、

前記成形部材内に係合された少なくとも2つの補強板とを備え、前記少なくとも2つの補強板が、外側に突出した耳部をそれぞれ有する2つの端部をそれぞれ含み、

さらに前記少なくとも2つの補強板の前記耳部を通して係合され、前記少なくとも2つの補強板を前記成形部材から半径方向に離れるよう移動させ前記成形部材を膨張させて口

10

20

紅材料を前記成形部材から離脱させ取り外すための、少なくとも２つのロッドと、

前記少なくとも２つのロッドのうち少なくとも１つを前記成形部材から半径方向に離れるよう移動させて前記成形部材を膨張させる手段と

を備えた口紅製造装置。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は装置に関し、詳細には口紅製造装置に関する。

【０００２】

【従来の技術】

出願人が知っている最新の先行技術は、Kuoに対する出願人の先行米国特許第6022209号であり、１つまたは複数の成形部材に結合され、成形部材を伸張させて成形部材から口紅を取り外すのを容易にするための、１つまたは複数のアクチュエータを備えている。成形部材は通常ゴム材もしくはプラスチック材で造られており、数回伸張させた後に損傷しやすくなることがある。

【０００３】

Foxに対する米国特許第3947209号は、いくつかの離間した金属板を弾性キャンドル型内に係合させ、弾性キャンドル型を伸張させるための機械式エキスパンドを開示している。しかし、前記金属板は、その中間もしくは中央部から突出して弾性キャンドル型の外側へ突出し引張りロッドに結合された半径方向の突起をそれぞれ含んでいる。引張りロッドは金属板の中間もしくは中央部に結合され、弾性成形部材の内部へ向けられているため、金属板を半径方向外側に安定して移動させたり引張ったりして弾性成形部材を伸張させることができない。例えば金属板の下部しか弾性成形部材の半径方向外側に引張ることができないため、成形部材の上部を伸張させることができず、口紅を弾性成形部材から容易に離脱させることができない。また弾性キャンドル型も、数回伸張させた後に損傷しやすくなる。金属板は弾性キャンドル型に対して移動し得るので、使用後に弾性キャンドル型の外側に引張られるおそれも大いにある。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、従来の口紅製造装置の前記した欠点を軽減させおよび／または除くためになされたものである。

【０００５】

本発明の主な目的は、弾性成形部材内に係合され、弾性成形部材を堅固に伸張させて弾性成形部材が頻繁な伸張動作によって損傷を受けるのを防止するための、１つまたは複数の補強板を有する、口紅製造装置を提供することである。

【０００６】

【課題を解決するための手段】

本発明の第１の面によれば、口紅材料を受けるよう内部に形成された少なくとも１つの成形キャビティを含む成形部材と、前記成形部材内に係合された少なくとも１つの補強板とを備え、前記補強板が、外側に突出した耳部をそれぞれ有する２つの端部を含み、さらに前記補強板の耳部を通して係合され、補強板を成形部材から半径方向に離れるよう移動させ成形部材を膨張させて口紅材料を成形部材から取り外すための、少なくとも１つのロッドを備えた口紅製造装置が提供される。

【０００７】

前記ロッドがそれぞれベースを含み、前記移動手段が、少なくとも１つのロッドに取り付けられ、ロッドを用いて成形部材を膨張させるための少なくとも１つのアクチュエータを含む。

【０００８】

前記成形部材が横方向外側に突出し互いに離間した少なくとも２つのリブを含み、前記ロッドが成形部材のリブを通してそれぞれ係合される。

10

20

30

40

50

【 0 0 0 9 】

さらにシートが設けられて成形部材の頂部に配置され、内部に形成され成形部材の成形キャビティに整合した、口紅材料を受けて口紅材料の根元部分を形成するための開口を含む。

【 0 0 1 0 】

本発明の更なる目的および利点は、添付の図面を適宜参照しつつ下記の詳細な説明を注意深く読むことにより明らかになるだろう。

【 0 0 1 1 】

【 発明の実施の形態 】

図面を参照し、まず図 1 ~ 5 について述べると、本発明による口紅製造装置は、口紅材料 4 を受けるよう内部に成形キャビティ 1 2 が形成された成形部材 1 を備えている。成形部材 1 は、弾性ゴム材もしくはプラスチック材で造られ、3 つまたはそれ以上の長手方向リブ 1 1 が横方向外側に突出して互いに円周方向に離間した円筒形状に形成されることが好ましい。リブ 1 1 はそれぞれ内部に形成された 1 つまたは複数のオリフィス 1 1 1 を含んでいる。3 つまたはそれ以上のベース 2 はそれぞれ、上方に延びリブ 1 1 のオリフィス 1 1 1 を通して係合する 1 つまたは複数のロッド 2 1 を含んでいる。成形部材 1 は、内部に設けられ成形部材 1 の成形キャビティ 1 2 の内側に突出し、口紅材料の硬化または形成後に口紅材料 4 の外周部分に対応する模様を形成するための、1 つまたは複数の文字を含み、また模様 1 2 1 を含んでいる。

【 0 0 1 2 】

油圧シリンダもしくは空気圧シリンダ等の 1 つまたは複数のアクチュエータ 8 0 がベース 2 に固定されており、ベース 2 とロッド 2 1 とを成形部材 1 の半径方向外側にすなわち成形部材 1 から離れる方向に移動させ、成形部材 1 を膨張させて（図 6、7）口紅材料 4 の模様 4 2、4 3 を損傷せずに口紅材料 4 を成形部材 1 から容易に取り外し、離脱させることができるようにしている。シート 3 が成形部材 1 の頂部に配置され、内部に形成され成形部材 1 の成形キャビティ 1 2 に整合した、口紅材料 4 の根元部分を形成し口紅材料 4 の硬化後に成形部材 1 から口紅材料 4 を取り外すための開口 3 1 を有することが好ましい。

【 0 0 1 3 】

成形部材 1 を形成するための弾性材料は、弾力性および耐熱性のあるもので、膨張し変形し得る合成プラスチック材、高分子材料、もしくは粘着性材料を含む。1 つまたは 2 つのベース 2 とロッド 2 1 のみを移動させることにより口紅材料 4 を成形部材 1 からほぼ確実に離脱させることができるように、口紅材料 4 の外周面の小さな区域または部分に模様を付けてもよい。また成形部材 1 は、内部に形成された 2 つまたはそれ以上の成形キャビティ 1 2 を含むようにして、内部に模様 4 2、4 3 が形成された 2 つまたはそれ以上の口紅材料 4 を同時に形成することもできる点にも注目すべきである。上記の構成は代表的なものであって、本発明の参照として挙げた出願人の先行米国特許第 6 0 2 2 2 0 9 号に開示されている。

【 0 0 1 4 】

本発明による装置はさらに、弾性成形部材 1 内に係合された 1 つまたは複数、例えば 2 つ、3 つまたはそれ以上の補強板 5 を含んでいる。補強板 5 は、上端部および下端部から外側に突出した 2 つの耳部 5 2、5 3 をそれぞれ含んでいる。耳部 5 2、5 3 はそれぞれロッド 2 1 を受けるよう内部に形成された 1 つまたは複数の開口 5 4、5 5 を含んでいる（図 6、7）。ロッド 2 1 は弾性成形部材 1 の内側へは向かず、弾性成形部材 1 に平行になっている。加えて、耳部 5 2、5 3 は板 5 の上端部および下端部から外側に突出しているため、補強板 5 を半径方向外側に効果的に移動させて弾性成形部材 1 を伸張させることができ、口紅材料 4 を成形部材 1 から容易に離脱させることができるようになる。したがって板 5 を使用して成形部材 1 を効果的に伸張させることができる。

【 0 0 1 5 】

板 5 が容易に曲がったり歪んだりするのを防止するため、板 5 は剛性を有するプラスチック材または鋼材もしくは合金材等の金属材料で造ることが好ましい。板 5 はそれぞれ内部

10

20

30

40

50

に形成された１つまたは複数の孔５１を含み、成形注入もしくは成形拔出し工程または他の成形工程等とともに成形部材１内に係合される。成形部材１を形成する材料が板５の孔５１に係合され、板５が成形部材１内に堅固に係合できるようにする。

【００１６】

したがって、本発明による装置は、弾性成形部材内に係合され、弾性成形部材を堅固に膨張させて弾性成形部材が頻繁な伸張動作によって損傷を受けるのを防止するための、１つまたは複数の補強板を含む。

【００１７】

本発明は、ある程度の特定制をもって記載されているが、本開示は単に例示的になされたものであり、以下の請求の範囲に記載された発明の精神および範囲を逸脱しなければ、部分

10

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明による口紅製造装置の分解図である。

【図２】装置の半分を切断した、装置の斜視図である。

【図３】補強板の斜視図である。

【図４】図５の４－４に沿った断面図である。

【図５】図４の５－５に沿った断面図である。

【図６】図７の６－６に沿った断面図である。

【図７】図６の７－７に沿った断面図である。

20

【符号の説明】

１ 成形部材

２ ベース

４ 口紅材料

５ 補強板

１１ リブ

２１ ロッド

５１ 孔

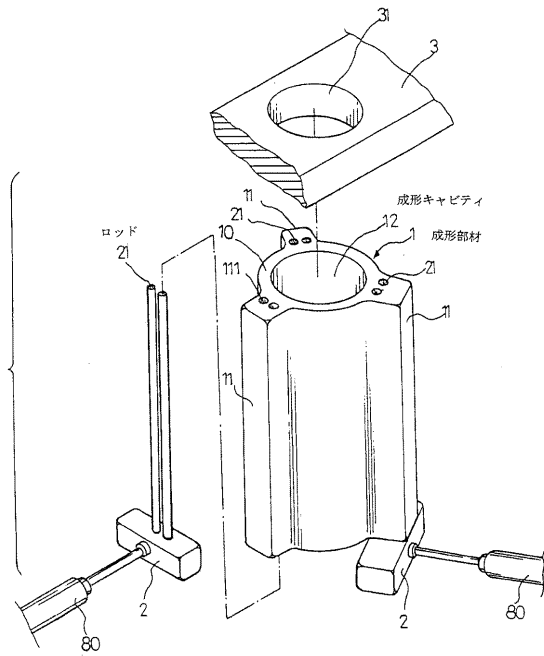
５２、５３ 耳部

５４、５５ 開口

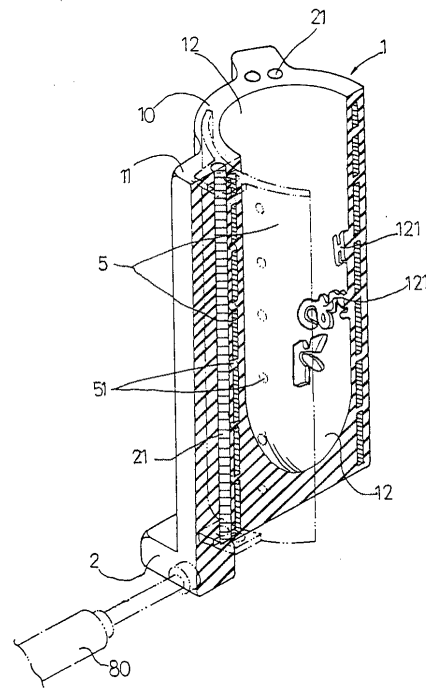
８０ アクチュエータ

30

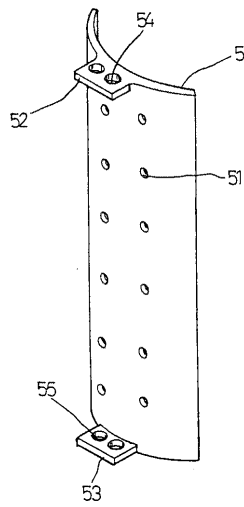
【図 1】



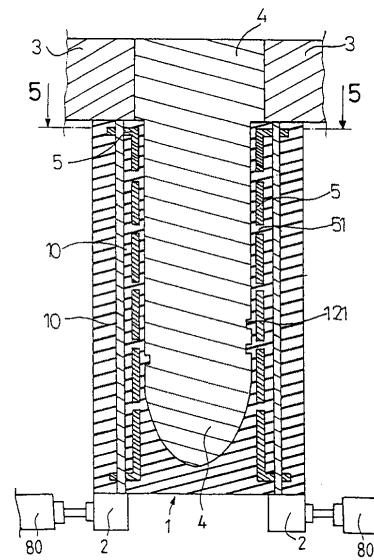
【図 2】



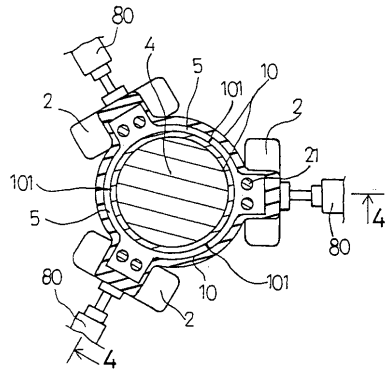
【図 3】



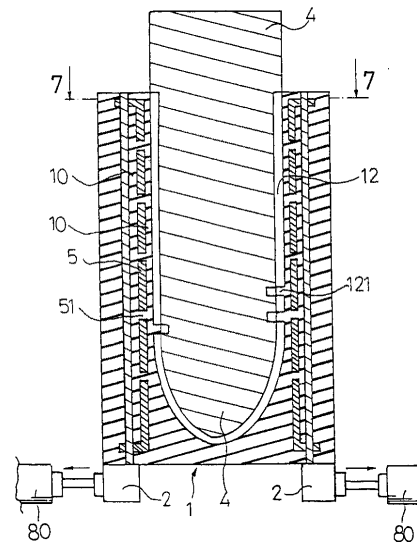
【図 4】



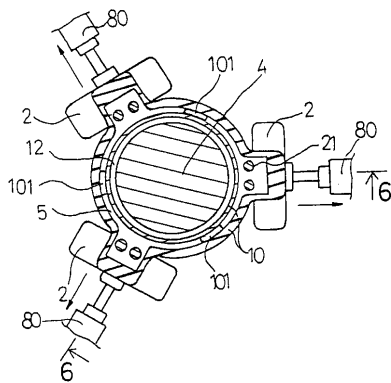
【図 5】



【図 6】



【図 7】



フロントページの続き

(74)代理人 100102495

弁理士 魚住 高博

(74)代理人 100101915

弁理士 塩野入 章夫

(74)代理人 100112302

弁理士 手島 直彦

(72)発明者 郭 富卿

台湾台南縣永康市中正南路274巷99弄25號

審査官 福井 美穂

(56)参考文献 米国特許第06022209(US,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61K 7/00-7/50